私たちは、2020年1月21日に、
「とよたSDGsパートナー」になりました。

私たちは３つの目標に取り組んでいます！

第47号
2023年３月

季刊 えこびと

エコットフェスタ 2022 556人の市民が来てくださいました！(12/3)

特集 **オープン10年目を迎えるリユース工房**
フォトレポート　12～2月のできごと
輝くえこびと会員紹介★賛助会員 大熊訓夫さん★

正解した方の中から抽選で50名様に 50 ポイントプレゼント!

とよたSDGsポイントがもらえる! 環境クイズ 第13回

豊田市は毎年、燃やすごみの組成分析調査を実施しています。2020年度の調査結果で、資源(資源化可能な紙類、布類)やプラスチック製容器包装が含まれていた割合は次のうちどれ?

①約１割　　②約２割　　③約３割　★ちゃんと分ければ燃やすごみも減らせるよ！

◆応募方法◆　「エコットの受付へ持参」「はがきで郵送」「FAX」のいずれかの方法で、
①答え、②氏名、③電話番号、④住所、⑤とよたSDGsポイントの番号をご記入の上、
2023年5月7日(日)[消印有効]までにご応募ください。
応募先　住所：６ページ下の住所　FAX番号：0565-26-8068
抽選結果は、ポイントの発行[5月下旬を予定]でかえさせていただきます。
※いただいた個人情報は、厳重に管理し、本クイズ企画に関することにのみ使用します。

答えのヒント

●第12回環境クイズの答え:②埋めるごみ　ご応募ありがとうございました!
応募数:36件(うち、36件正解。1月下旬、とよたSDGsポイントをプレゼントしました。)
ポイントの確認は、スマホ専用アプリまたはホームページ「とよたSDGsポイントナビ」でできます。

特 集　オープン 10 年目を迎えるリユース工房

2023 年 4 月に、リユース工房がオープンして 10 年目を迎えます。どのような経緯でオープンし、現在に至るまでどんな事業展開をしてきたのかをご紹介します。毎週火・木・日曜日に運営していますので、ぜひリユース工房へお越しください！

1.試行期間を経て 2014 年 4 月に正式オープンしたリユース工房

この施設は、ものを大事に長く使う意識の高まりや、ごみの減量・再利用に対する理解を深めることを目的に、2012 年 11 月 4 日にオープンしました。ただし、本格運営ではなく、2014 年 3 月末までの約 1 年 5 か月間、試行期間として豊田市シルバー人材センターが市から受託して、その会員が運営していました。

当時は、リユース工房に近い上郷、高岡地区の粗大ごみを中心に再生した家具を展示していました。現在もそうですが、粗大ごみを出した方にリユース家具として販売することを事前に了承を得て再生していました。主にテーブルやいす、棚といった家具などを 40 点ほど展示（現在は毎月 50 点）していました。来場者は、リユース家具に表示された最低価格を基本に、金額等を入札書に記入して入札箱に投函していました。そして最高価格を提示した人（落札者）に販売をしていました。

また、豊田市のエコポイント制度も活用し、展示期間中に来場すると 5 ポイント、落札するとリユース品 1 点につき 20 ポイント発行していました(現在、来場ポイントはなく、落札するとリユース品 1 点につき 20 ポイント、とよた SDGs ポイントを発行)。

2013 年 6 月 13 日から 20 日には、環境省が定める環境月間に合わせて初めての出張販売を行っていました。場所は、豊田市中央図書館。和だんす（最低入札価格 2500 円）や、座卓（同 1500 円）など 15 点並べられました。

【2012 年 11 月～2014 年 3 月（17 か月間）の成果】
来館者数：約 4000 人
展示リユース家具数：705 点（うち 703 点が販売）
来館者アンケート：回答者の 99%以上が事業の継続や拡大を希望

豊田市は試行期間の成果を見て、粗大ごみの有効利用を進める施設として効果が高いと認め、2014 年 4 月から正式な事業としてスタートすることにしました。2014 年度から現在に至るまで、家具の修理は引き続き豊田市シルバー人材センターが受託して行っていますが、リユース工房の運営は、当法人が受託して運営させていただいています。

広報とよた 2015 年 5 月 1 日号に特集としてリユース工房を取り上げていました（右図参照）。

また、当法人が発行する季刊えこびと第 13 号（2014 年 7 月）でも、“リユース工房の『軌跡』と『奇跡』”と題して、特集として掲載しています。特集記事は、2 次元バーコードから閲覧できますのでご覧ください。

2. 試行錯誤を繰り返しながら発展し続けるリユース工房

売れ残りがないように、また多くの市民に関心を持ってもらうために、様々な企画を行ってきました。最近の動きを中心に一部をご紹介します。

明治から昭和のレトロ家具販売
（2019 年 6 月）

エコットフェスタ 2019 で即売会
（2019 年 12 月 8 日）

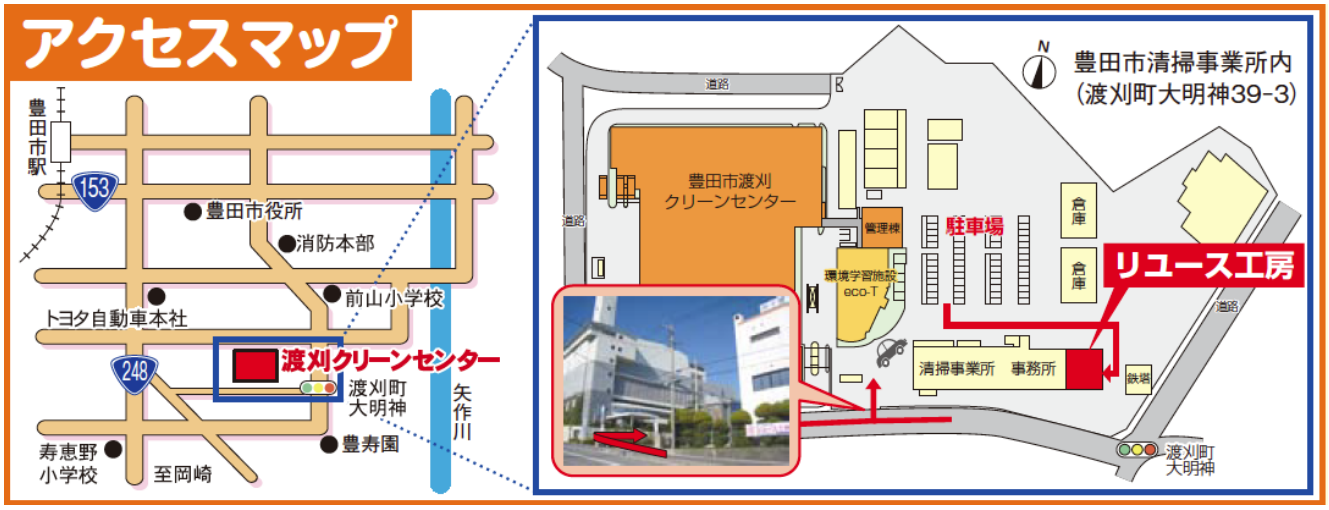
団体見学によるリユース工房見学
（2022 年 8 月 4 日）

出張リユース工房 in 産業フェスタ
（2022 年 9 月 10～11 日）

出張リユース工房 in メグリア本店
（2022 年 11 月 19～20 日）

出張リユース工房 in 中央図書館
（2023 年 1 月 20～25 日）

捨ててしまう・壊して処分するのは“もったいない”。使えるものは、直したりリメイクしたりして長く使うことが“あたりまえ”のライフスタイルになっていけたらなと願っています。ぜひ生まれ変わったリユース家具を見に来てください。お待ちしています！



リユース工房　（ https://www.eco-toyota.com/reuse/ ）

2023 年 4 月から、「展示品一覧」や「入札結果情報」などは、上記の URL から確認することができるようになります。どんなリユース品が出品されているか、リユース工房に直接行く前にこのサイトを確認してからリユース工房にお越しください。

開館：毎週火曜日、木曜日、日曜日の 10 時から 15 時まで

住所：豊田市渡刈町大明神 39-3　　TEL：0565-42-6010

ホームページ

フォトレポート　12～2 月のできごと

どんな行事を開催してきたかご紹介します。

12/1 県立豊野高校の学生と一緒に、高校周辺の落ち葉やごみを拾いました。エコットからは 12 人の有志が集まりました。学生たちと話しながら拾って楽しかったそうです。

12/27 エコット館内の大掃除をインタープリターと一緒に行いました。普段は清掃スタッフがきれいにしてくださっていますが、手を付けていない所なども含めて、大勢の力で館内をきれいにすると気持ちが良いものです。

12/3 エコットフェスタ 2022 を開催しました。くるりん村、くるりん市場、ステージショーなどを展開。インタープリターの他、市民団体や高校、大学、行政など様々な主体と一緒に盛り上げました。

1/7 県立豊田東高生が企画した講座「リサイクル工作であそぼう」を開催しました。ダンボールで作った羽子板と壊れたバドミントンの羽を使って、ストラックアウトや的あてなど、色んなゲームをして遊びました。

12/11「ハロー！カーボンニュートラル」イベント（於.とよたエコフルタウン）に出展して、ごみつり分別ゲームを実施しました。子どもも大人も楽しみながら、正しいごみ分別の方法を学んでいただきました。よく間違っていた、使い捨てカイロは「埋めるごみ」ですね。

1/20 益富中学生がエコットに来て、工場見学と８つの環境学習プログラムを体験ました。買い物ゲームのプログラムでは、班ごとにカレーとサラダの具材カードを選択して買った後、SDGs や地産地食、フェアトレードや MSC などエコマーク商品について学びました。

フォトレポート　12～2 月のできごと

どんな行事を開催してきたかご紹介します。

1/29 愛知学泉短期大学の学生による講座「ポトフとにんじんのきんぴらとケーキを作ろう」を開催しました。食ロス削減のほか、防災備蓄品の活用についても学ぶことができました。

2/16 新規インタプリター育成講座が修了し、６名に修了証を授与しました。４月から第 17 期インタープリターがデビューすることになります。楽しみですね！

1/31 三好特別支援学校の生徒がエコットに来館し、工場見学とごみつり分別ゲーム等の体験をしてくださいました。最後にお礼で、手作りの紙バッグと油吸い取りパックをプレゼントしてくださいました。

2/24 第４回世話人会＆新規インプリ歓迎会企画検討会を開催しました。お米１合とおにぎらずに入れたい具材を各自持参し、入れたい具材を自由に選んで調理しました。ご飯を炊いている間に歓迎会の内容を話し合い、とても楽しい企画が生まれました。今からもう楽しみです！

2/11 エコットで、卒 FIT 後の太陽光発電・蓄電池に関する相談会を開催しました。おいでんエネルギー(株)の松原俊介様による講演の後、参加者の関心や疑問にお応えする相談会を行いました。相談会には、６つの地元企業様が出展してくださいました。

2/24 事業成果説明会を開催しました。今年度の重点的な事業の成果を報告し、共有し合いました。後半は、豊田市国際交流協会の是永美穂様による「やさしいにほんご講座」を開催しました。情報を相手に分かりやすく伝えるには、色々な手段があることを学びました。

輝くえこびと会員紹介　★賛助会員　大熊　訓夫（のりお）さん★

大熊さんは、末野原地区コミュニティ会議で体育委員長として活躍され、旧渡刈清掃工場で 10 年間、現渡刈クリーンセンターで 12 年間勤められ、定年退職されました。2020 年度に新規インタープリター育成講座を受講し、現在第 15 期生としてご活躍されています。

大熊さんは、旅行やウォーキング、サイクリングが趣味だそうです。旅行で一番の思い出は、スイスのマッターホルンを逆さに観た時の感動が忘れられないそうです。また、エコットまでは歩けるときは歩いて移動しますが、夏の暑い時は風を切って走ると気持ちいいので自転車で移動するそうです。

歩いたり自転車に乗ったりして自然を感じながら新しいものを発見することが喜びを感じるとか。そのために、健康な体を維持することを日々心掛けているそうです。

私は大熊さんと最初にお会いしたのがコミュニティ会議で、体が丈夫そうな人だなという印象でした。現在は、ご縁があってエコットの仲間として一緒に活動できることに感謝しています。（村上和代）

会員募集中！　★会員になって一緒に SDGs に向けて行動しませんか?★

◆正 会 員◆　議決権あり

個人		5,000 円

◆賛助会員◆　議決権なし

個人	一　般	1,000 円/口
	学　生	500 円/口
団体	非営利団体	3,000 円/口
	営利団体	10,000 円/口

◆会員になると◆

★エコットシアター参加費無料！(300 円相当)

・とよた SDGs ポイントをプレゼント

正 会 員：500 ポイント（500 円相当）

賛助会員：300 ポイント（300 円相当）

・季刊「えこびと」　年 4 回発行

・主催行事への割引参加

◆入会手続き◆

①当法人のホームページから、入会申込書をダウンロードする。

または、豊田市環境学習施設 eco-T(エコット)へ問い合わせる（電話 0565-26-8058）。

②入会申込書に必要事項を記入し、エコットへ持参、または FAX（0565-26-8068）する。

③会費を納入する。（エコットで納入する、または口座に振り込む。）

編集後記

梅の花が咲き始め、春の訪れを感じる季節となりました。今回の特集では、2023 年度に 10 年目を迎えるリユース工房を取り上げました。市民のごみ削減に対する意識も向上し来館者も増えてきています。その流れを、加速させようと新年度の取り組みや体制づくりを進めて行きますので、皆様のご協力をお願いいたします。(木本貢二)

持続可能で豊かな地域社会（エコライフとよた）の実現を目指す
発行・編集　NPO 法人とよたエコ人プロジェクト

〒471-0034　豊田市小坂本町６丁目５番地２　シティハウス NAGASAKI 43　107 号
メール：info@t-ecobito.jp
当法人ホームページ：http://t-ecobito.jp/
eco-T ホームページ：http://www.eco-toyota.com/
eco-TFacebook ページ：https://www.facebook.com/ecotoyota/

当法人ホームページ　eco-T ホームページ　eco-T Facebook ページ